



## あけましておめでとうございます

本年が皆様にとって良い年となりますように



新年おめでとうございます。

辰（龍）は、古代中国では、麒麟、鳳凰・亀と

ともにめでたい動物とされ、日本でも海神・水神として信仰されてきました。（学研 現代国語辞典より）

天候をも支配する巨大な力をもつことにより、辰年は時代を動かす「変革（転機）」や「激動」の年と呼ばれています。

庄内町にも「飛龍伝説」（旧余目町深川エリア）、「龍神信仰」（旧立川町立谷沢エリア）という龍にまつわる伝説があります。地図を見ますと狩川-清川-立谷沢を結ぶラインが、昇り龍にも見えます。立川地区に住む方々にとって今年は大活躍の年となる予感がします。ただし、事を為すには、準備が大事です。日本人が尊敬する人物の一人に、織田信長がいます。信長は、もともと尾張の国の小大名でしたが、大国の今川義元に攻められた時に今川軍に奇襲攻撃をかけ、奇跡の勝利を収めました。信長のすごいところはその後からです。

普通、うまい作戦で勝てたときや、運良く勝てたときなどは、自分の作戦に酔いしれ、また同じことをやろうとするものです。しかし、信長は「小手先の作戦」や「偶然の勝利」を嫌い、戦の前には準備に準備を重ねました。具体的には、敵が5千人いたら、その2倍、3倍、時には10倍もの見方を用意し、「必ず勝つ」と確信ができてから戦を始めたのだそうです。つまり、信長は戦う前から勝つことが決まっている戦いを繰り返していたので、勢力を伸ばすことができたのです。この話から私はこう考えます。部活動の大会で優勝するチームは、どのチームより練習をしていて、練習の時点ですでに優勝することが決まっているのです。何事もそうで、成功する活動は、その前の準備の段階で、すでに成功が決まっているのです。テストで100点とる人というのはテストを受ける前に100点がとれるだけの勉強をしていて、100点とることがすでに決まっている人なのです。

「備えて勝つ！」です。

## =立川中学校文化活動報告=

【税の作文】 庄内町長賞 優秀賞 黒沼 晴さん

【読書感想文コンクール】優秀 齋藤玲依さん

【いじめ防止標語】優秀賞 太田百々花さん 阿部光峻さん 太田翔平さん

【平和・スポーツの力啓発標語コンクール】最優秀賞 長南瑠華さん

優秀賞 西村咲耶さん 阿部楓芽さん 坂本吏生さん 太田百々花さん

【田川児童生徒図画作品展】入選 小野寺七琉さん 加藤 柑さん 小林由奈さん

小鷹芽生さん 田中那鳳さん 上野優磨さん 高橋結菜さん

【防犯ポスター】入選 齋藤未旺さん

今年度も各種コンクールにおいて、中学生の視点で考えた思いを文字や絵で表現することができました。スポーツだけでなく、文化面でも立中生、頑張っています。



新聞又は機関紙に掲載された結果及び生徒名は、そのままとしております。

立川中学校ホームページ

<https://www.town.shonai.lg.jp/tachichu/>